

## メッセージ

「北河内非核平和行進」の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

今年で広島、長崎の被爆から 79 年となります。昨年 5 月に開催された G7 広島サミットでは、『核兵器のない世界』の実現に向けて取り組んでいくと首脳宣言で表明されましたが、いまだ、世界にはおよそ 1 万 3 千発にも及ぶ核兵器があり、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻では核兵器使用を示唆するなど、依然として核兵器の存在は人類の生存に大きな脅威を与えています。

我が国においては、世界で唯一の戦争被爆国として国際社会の先頭に立ち、平和を望む世界各国の人々と協調し、核兵器の悲惨さと平和の尊さを次世代に伝え、訴え続けていくことが求められます。

核兵器の廃絶は大変困難な道のりではありますが、私たち一人ひとりが強い意志をもって核兵器のない国際社会の実現を希求し続けることが何より大切です。

1982 年に大阪府内の各自治体に先駆けて「非核平和都市」を宣言した本市としましても、核兵器のない、戦争のない平和な世界の実現に向けて、市民の皆様とともに恒久平和をめざす取り組みを進めてまいります。

北河内非核平和行進にご参加の皆様が無事全日程を終えられ、その訴えが広く世界に発信されることをお祈り申し上げます。

2024 年 7 月 26 日

枚方市長 伏見 隆

## 非核・平和行進メッセージ

「非核・平和行進」が、開催されますことをお祝い申し上げますとともに、ご参加されている皆様に心から敬意を表します。

交野市では、核兵器を持たない、戦争のない、平和で安心して暮らせる社会の実現を目指し、1983年に非核平和都市を宣言、2001年には平和と人権を守る都市宣言を行いました。これらの宣言は、わたしたち交野市民一人ひとりの平和への強い願いであります。

さらに2010年には、核兵器のない平和な世界を実現するため、世界の都市と連携して国際社会にアピールされている「平和首長会議」に加盟し、併せてヒロシマ・ナガサキ議定書への賛同署名もいたしました。

広島と長崎に原爆が投下されてから79年を迎えようとしています。戦争体験者の高齢化が進み、被爆・戦争の悲惨さを継承していくことが困難となってきました。しかし、世界で唯一の被爆国として「核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ」を風化させることなく、次世代の子ども達へ継承していくことが平和な世界の実現に向けて何よりも大切なことでもあります。

交野市といたしましては、非核・平和の実現に向けて関係団体と連携し、これからも国際社会に強くアピールしていく所存でございます。

非核・平和の輪が全世界に広がることを祈念いたしますとともに、皆様方が最後までお元気に行進され、目的を達成されますことを心からお祈り申し上げます。まして、わたくしのメッセージといたします。

2024年7月26日

交野市長 山本 景